

小倉正恆 きくら せいこう 實業家、政治家。明治八年（二月）二十一日石川縣金澤
生れ、昭和二十六年十一月二十日歿（一八七五—一九六二）。號簡齋。明治二
十年東京帝國大學法料大學英法料卒。内務省に入り、山口縣參事官か
ら二十二年任友本店の轉じ、果進して代表取締役總理事となる。昭和
八年貴族院議員。十六年任友を退き、國務相、藏相を経て戦時金融金
産總裁就任、戦時體制下の財界を主導し國家との調整に努めた。石門
心學會會會長、修養團後援會會會長。また漢籍に造じた。

著書に、木蘇牧註『尾巖集註』全八冊（校、昭和二年夏上海・自刊）、
『時局白眼』（△著、都新聞社編、昭和十四年十一月）内秋豐園出版
部）等。神山誠著『小倉正恆』（昭和二十七年十一月、二十日自社）
刊。

